

Fujitsu Software Interstage Business Application Server V13



基幹オンラインシステム基盤

拡張性の高い基幹オンラインシステムの構築を実現

戦略的な情報活用を進めるために、基幹オンラインシステムには変化に即応できる拡張性とより高い保守性、信頼性を備えた安定稼働が求められています。

Interstage Business Application Serverは、最新技術を取り込んだフレームワークをベースに、Interstage Application Serverのアプリケーションサーバ機能に加え、業務システムに必要とされる制御機能や、システム連携など拡張性を高める機能を提供することで、高度な基幹オンラインシステムの構築を容易に実現します。

こんな課題ありませんか？

業務の様々な変化に即応できる
業務システムを構築したい

既存の膨大なアプリケーション
資産を安心かつ永続的に利用したい

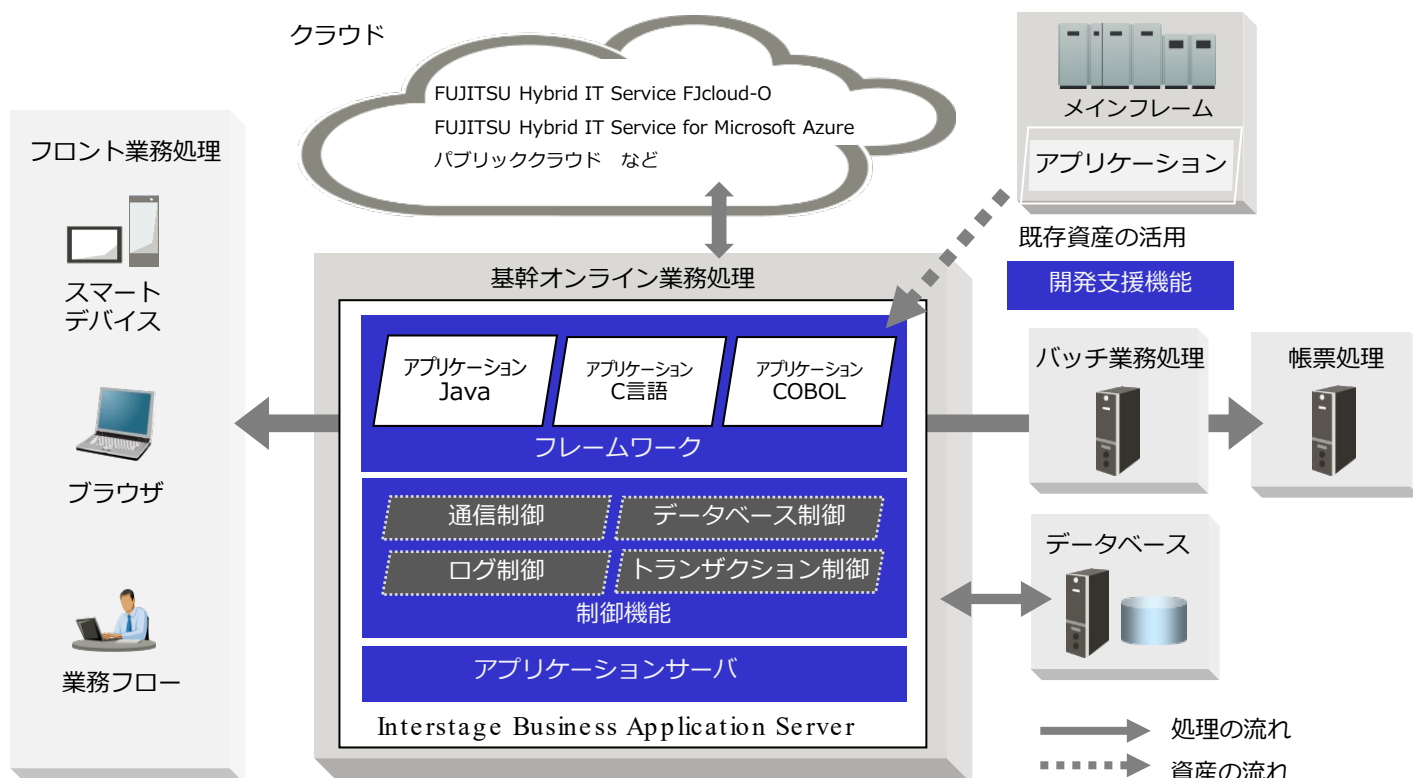
信頼性の高い基幹オンライン
システムを構築したい

Interstage Business Application Serverで解決！

最新技術を取り込んだフレームワークを提供
拡張性高いシステムの短期構築が実現

実行環境を堅牢化し安心な継続利用が実現

基幹システムに求められる高度な制御機能の
搭載により高信頼なシステムを構築



最新技術を取り込んだフレームワークを提供、拡張性高い業務システムの構築が実現

Javaの最新技術を取り込んだフレームワークにより、効率よく、かつ品質の良いシステムを構築できます。また、拡張性の高い業務システムの構築が実現できます。

最新技術のJavaアプリケーションフレームワーク

最新技術に対応したフレームワーク(Spring Framework、MyBatis)を活用することで、高い信頼性を求められる基幹業務の開発を加速することができます。

Jakarta EE 8とOpenJDK 8への対応

Jakarta EE 8とOpenJDK 8をサポートしたアプリケーションサーバを提供しています。フレームワークとJakarta EE 8/OpenJDK 8のWebサービス技術を組み合わせることで、業務サービス間連携の簡素化を図ることができます。

実行環境を堅牢化、安心な継続利用が実現

Javaアプリケーション実行環境を堅牢化し、かつ最新技術と融合することによりお客様の資産を長期間にわたって安心して稼動することができます。

セキュア化したJavaアプリケーションフレームワーク

多数のアプリケーションの長期稼動実績をもつ、オープン技術を取り込んだJavaアプリケーションフレームワークを提供しています。オープン技術に潜む、セキュリティ脆弱性に対してセキュア化しており、安全・安心なアプリケーション運用をサポートします。

アプリケーション資産の継続利用

旧バージョンで提供していたアプリケーションサーバ、フレームワークをOpenJDK 8で利用することができます。旧バージョンからの継続運用だけでなく、オープンソースソフトウェアの環境からの移行を円滑に行うことができます。

基幹システムに求められる高度な制御機能の搭載により 高信頼なシステムを構築

基幹システムに必要な通信制御、データベース制御、トランザクション制御、ログ制御など高度な制御機能を搭載しています。お客様のアプリケーションは、これらの制御を実装する必要がないため、開発者は業務ロジックに専念でき、信頼性、安全性、保守性の高いシステムの構築が可能になります。

通信形態に依存しないアプリケーション開発

会話処理は、処理要求に対して、リアルタイムに処理結果を応答する処理形態であり、オンライン業務に適しています。業務処理の実行前／後などに必要な処理を行う共通機構を呼び出す機能を備えています。

効率的なデータベースアクセス

バックエンドアプリケーションでデータベースにアクセスする際、データベース制御の事前コネクト機能やコネクションプーリング機能により、データベースへのアクセスを高速化できます。また、通信異常やデータベースサーバ異常によりデータベースのコネクションが無効になった際にも、コネクション再接続機能により業務継続が可能です。

トランザクション制御によるデータ整合性保証

トランザクション制御機能では、アプリケーションの処理結果にしたがってデータベースへのコミットやロールバックを自動化し、アプリケーションの処理結果とデータの整合性を保証します。

堅牢なログ書き込み

ログ制御機能では、データベースと同等の堅牢な書き込みと順序性を保証します。また、エンドレスなログ採取により、運用性を向上できます。

製品体系

製品名	製品概要
Interstage Business Application Server Enterprise Edition	Java/COBOL/C言語による拡張性の高い基幹オンラインシステムの構築に加え、高度なアプリケーション通信、システム間連携を備えたアプリケーションサーバ

動作環境

製品名	サーバ動作OS (*1)	クライアント動作OS (*1)
Interstage Business Application Server V13.1	Microsoft® Windows Server® 2022 Microsoft® Windows Server® 2019 Microsoft® Windows Server® 2016 Red Hat Enterprise Linux 9 Red Hat Enterprise Linux 8 Red Hat Enterprise Linux 7	Microsoft® Windows Server® 2022 Microsoft® Windows Server® 2019 Microsoft® Windows Server® 2016 Windows® 11 Windows® 10
Interstage Business Application Server V13.0	Oracle Solaris 11	Microsoft® Windows Server® 2022 Microsoft® Windows Server® 2019 Microsoft® Windows Server® 2016 Windows® 11 Windows® 10

(*1) 最新の情報はWebサイトにてご確認ください。

*Apacheは、The Apache Software Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

*GlassFishおよびJakarta EEは、米国およびその他の国におけるEclipse Foundation, Inc. の商標または登録商標です。

*Linuxは米国およびその他の国におけるLinux Torvaldsの登録商標です。

*Microsoft、Windows、Windows Serverは、マイクロソフト グループの企業の商標です。

*OpenJDKは、Oracle America, Inc. の商標です。

*OracleおよびJavaは、オラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

*Red Hat、Red Hat Enterprise Linuxは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

*記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

*本資料に記載されているシステム名、製品名などには必ずしも商標表示 (TM・®) を付記しておりません